

[年度] 24年度和歌山県農林水産試験研究成果情報

[成果情報名] マイマイ類の発生状況と防除対策

[要約] オナジマイマイは有田川町から有田市の一部に広く分布している。また防除についてはメタアルデヒド粒剤および燐酸第二鉄水和物粒剤の処理、株元への銅板の被覆が有効である。

[キーワード]

[担当機関名] 果樹試験場 環境部

[連絡先] 0737-52-4320

[専門分野] 果樹

[分類] 普及

[背景・ねらい]

近年和歌山県中部のカンキツ産地でマイマイ類の被害報告が急増している。しかし種の構成の実態や詳細な発生地域、また化学的防除及び耕種的防除の効果は不明である。そこで有田川町を中心としたマイマイ類の発生状況及び効果的な防除法について調査を行う。

[成果の内容・特徴]

1. カンキツ園で発生するマイマイ類の大部分はオナジマイマイであり、有田川町から有田市の一部に広く分布している（図1）。
2. メタアルデヒド粒剤及び燐酸第二鉄水和物粒剤の処理はオナジマイマイの防除に有効である（図2）。
3. カンキツ樹株元に銅板を被覆することでオナジマイマイの樹上への移動は抑制できる（図3）。

[成果の活用面・留意点]

1. マイマイ類は樹上に移動すると駆除が困難なため、発生が確認された園では速やかに防除を行う。

[具体的データ]

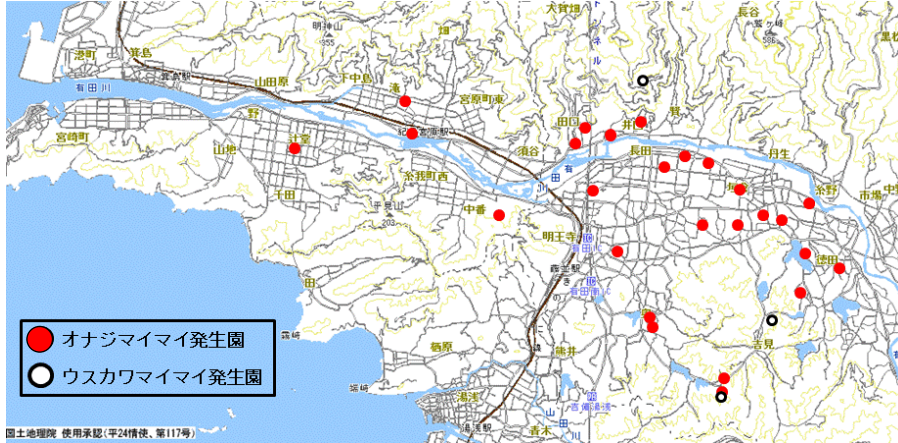


図1 有田川町及び有田市でマイマイ類が確認された園(2012年10月2日調査)

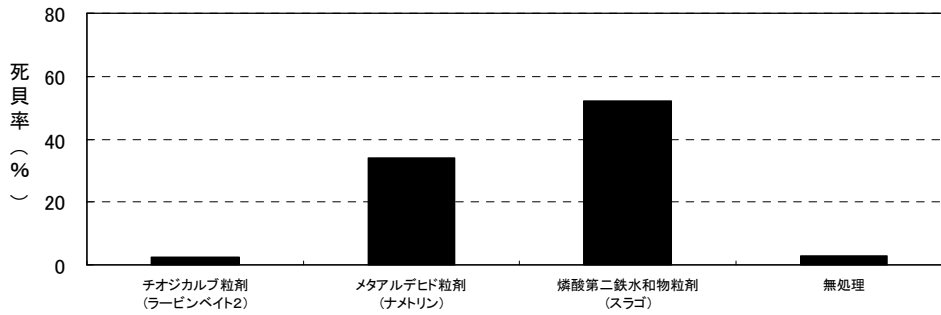


図2 マイマイ類に登録のある薬剤のオナジマイマイに対する効果

調査場所 有田川町奥 果樹試験場内ビニルハウス
 調査方法 田口早生7年生を植栽した60Lポットに薬剤を適量処理した。処理後、試験場内及び有田川町内で採集した供試員を20匹ずつ放員した(各処理2樹)。放員120時間後、死員率を調査した。なお供試員の移動と逃亡を防ぐため、樹の株元およびポットの縁部分を酸化処理を行っていない銅板(幅4cm)で被覆した。

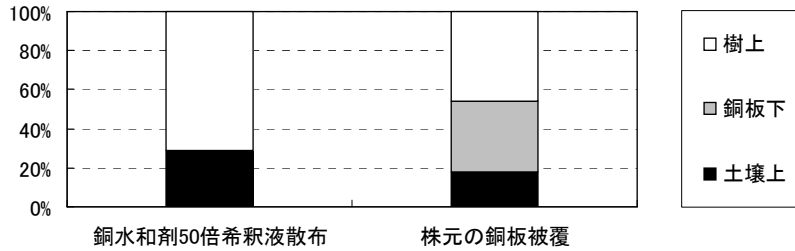


図3 銅水和剤の樹体散布及び樹株元への銅板被覆によるオナジマイマイの樹上への移動抑制効果

調査場所 有田川町奥 果樹試験場内ビニルハウス
 調査方法 田口早生7年生を植栽した60Lポットに銅水和剤(ICボルドー66D)50倍希釈液を適量処理、また樹の株元を幅4cmの酸化処理を行っていない銅板で被覆した(各処理2樹)。処理後、試験場内及び有田川町内で採集した供試員を土壌上に20匹ずつ放員した。放員120時間後、供試員の移動場所を調査した。なお供試員の逃亡を防ぐため、ポットの縁部分を上記と同様の銅板で被覆した。

[その他]

研究課題名：果樹病害虫防除技術の開発

予算区分：交付金 (1 / 2)

研究期間：平成24年

研究担当者：貴志 学、井沼 崇、森口幸宣

発表論文等：第57回応用動物昆虫学会大会講要

HP掲載の可否：可